

選 評 | たくさんのご応募ありがとうございました。

ご応募いただいた写真総数 3,539 点の中から大賞 1 点、優秀賞 2 点、佳作 5 点を選考し、受賞作品の選評をいただきました。

大 賞

3・4月



サハラ砂漠での朝日鑑賞

和歌山県・ペンネーム aotomo さん

選評

モロッコツアーの中でも人気のひとつ、サハラ砂漠での情景。ラクダの隊商が朝を迎え出発の準備に取り掛かる前のひとときを感じさせ、清々しい光と空気感がストレートに表現されています。広角レンズで放射状に広がった雲の雄大さ、顔を見せ始めた太陽に染められてゆく黄金色の砂丘の上で、主役のラクダのあどけない表情と真紅の鞍が絶好のアクセントとなって画面を引き締めています。

優秀賞

1・2月



あっ 降ってきた

大阪府・今井俊治さん

選評

愛くるしい姿と仕草で野鳥界のアイドルとも言われるシマエナガ。その反面、小さく動きも素早いので撮影も難しいとされていますが、超望遠レンズによる狭い画角の中での確にアイドルを写し止めました。枝が構成する空間の中での鳥のポジションも最適のため、小さくとも存在感を増しています。風に散る雪の欠片も、良い風情を演出してくれました。

優秀賞

11・12月



朝日に浮かぶ浮見堂

静岡県・山本武正さん

選評

奈良公園の薦池に浮かぶ八角堂形式の美しいお堂の姿を、さらに雅に情緒豊かに構成した素晴らしい作品です。画面上部を飾る大胆な紅葉の配置とバランスの良さは言うまでもありませんが、画面各所にまで色彩の配分を意識したセンスは見事というほかありません。何より浮見堂の美の根本である、お堂を映した波紋の作り出すリズムが活きています。

佳作

5・6月



ブルー湖に映るチェルヴィーノ

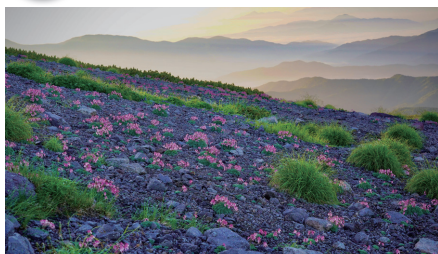
東京都・村田直樹さん

選評

「チェルヴィーノ」とはマッターホルンの別称とか。日本でもおなじみの、その雄姿を魅惑的な湖面に映し込んで迫力と美しさが倍増されています。左右の森林と山裾が作り出す形によって、見る人の視線を実際の山頂と湖面のマッターホルンに導く画面構成が巧みで見応えがあります。

佳 作

7・8月



天空の花畑

東京都・石崎誠一さん

選評

仔細に眺めていくうちに、写し込まれた情報量の多さと内容の豊かさに驚かされます。コマクサは希少で可愛いのでアップで写されることが多いのですが、ここでは贅沢に一面の色彩として表現されています。背景の山々のトーンも繊細で美しく、この場所の微妙な光と良く響き合っています。

佳 作

9・10月



沼田花火大会

埼玉県・織田雅士さん

選評

迫力ある二色の大輪の花火の上に、たくさんの小菊が群れ咲くような画面構成がユニーク。黒いスペースの無駄も少なく、画面を有効に使って迫力と賑やかさを表現しています。画面下の夜店や樹木のシルエットなど、細部も花火の壮大さをうまく引き立てました。

佳 作

紅葉祭りに誘われて

茨城県・ペンネーム羊雲さん



15年間、毎年通い続けている富士山。人が少ない早朝を狙い、お気に入りの橋から撮影しました。朝焼けで赤みを帯びた雲と、寒い季節ならではの気嵐が印象的なポイントです。迫力よりも全体のバランスを大切に、穏やかな美しさを感じられる一枚に仕上げることができました。

選評

河口湖畔からの晩秋の富士。澄み切った空に点在する薄紅色の雲が、まるでバラの花びらを富士がまとったかのように見えます。迫力ある笠雲や吊るし雲ももちろん富士には良く似合いますが、こんなリリカルな装いの富士も素敵なものだと教えてくれる作品です。

佳 作

アルザスワイン街道の教会のある風景

東京都・瀧江忠良さん



フランス北東部アルザス地方にあるユナヴィル村を10月中旬に訪れた時の写真です。黄葉したブドウ畑、小さな村を見守るように丘の上に立つ赤い屋根の小さな教会、秋晴れの空を流れる白い雲、誰もいないメルヘンの世界です。

選評

ワインの産地として知られるフランス北東部のアルザス地方。ワイン街道を辿って美しい村々を巡る途中の景色でしょうか。色付いた秋のブドウ畑が延々と続く景色の中、古い教会を印象的に捉えました。のどかな雲の姿も遠くの山も、とても良いバランスです。